

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO 団体などを紹介します。
問 まちづくり支援課 ☎82・3910/IP ☎88・9094



▲宇陀市へ寄贈

① 綺麗なダリアが 市役所の玄関でお出迎え

内牧地域まち協

宇陀市特産のダリアの花鉢を、6月に当まち協から市へ寄贈しました。現在、市役所の玄関前に綺麗な花が咲いた鉢が並べられ、来庁する方の目を楽しませています。



▲市役所玄関に飾られているダリア

となり、誰もが簡単に綺麗なダリアが育てられるよう、日々改良に取り組んでいます。

この美しい市特産品のダリアを多くの方に知ってもらい、また身近に感じてもらいたいと思います。

② 日本刀の祖 「天国の郷」を訪ねて！

宇陀市の神話と歴史を
考える会

市まちづくり活動応援補助金採択団体

天国は、わが国最初の刀剣師であり、「天国の井戸」は師が文武天皇の大室年間に、霊水をもつて数多くの名刀を鍛え、日本刀の原形小鳥丸を作り出した場所とされています。

7月20日、約90人の参加のもと、この歴史と現在の刀場を訪ねるツ



▲天国の井戸



▲鍛錬の様子

③ 「夏休み子ども 自転車教室」開催！

榛原地区まち協

7月26日、梅雨明けの快晴のもと、学びの丘駐車場において「夏休み子ども自転車教室」を実施しました。

今回は市自転車競技連盟代表の片山仁氏の指導で自転車の正しい乗り方とテクニクをゲーム競技感覚で学びました。参加者は幼児2人を含む榛原小学校区の18人。

まず最初はヘルメットの正しい付け方。そして「足を地面に着けない自転車での遅乗り競争」や「障がい物を越えたり、避けたりする競技」な



▲自転車の遅乗り競争スタート



▲上手に乗れるようになりました

子どもが多くなりました。子どもたちは夏休み中、自転車に乗る機会も増えるため、安全に自転車に乗れるよう、この教室を通じて、楽しく学ぶことができました。

「ナツメ」



ナツメは平安時代以前から果物(菓子)や薬として使われています。芽が出るのが遅く、初夏になって芽が出るので、夏芽、すなわちナツメの名がついたといわれています。生薬名は大棗(たいそう)。大棗を煎じて服用すれば、筋肉の急迫症状を和らげ、知覚過敏を緩和、せきを止め、声の枯れを直し、体の痛み、腹痛、眼病、神経痛、痛風に効きます。また、小児の夜泣き、胃がいれん、不眠症、ヒステリーなどにも効果があります。薬として利用する場合は、果実が赤くなる寸前に収穫し、わずかに変色したら天日乾

燥します。またはよく熟した果実を採取し、天日乾燥すればできあがりです。

果実は、箸休めの甘煮や果実酒にしてもよく、若葉はかき揚げやおひたしにしてもおいしくいただけます。

ナツメは南ヨーロッパからアジア西南部原産で、各地で栽培されています。根が走り、あちこちで芽を吹きます。芽を秋に株分けすれば、簡単に苗が作れます。芽がなければ根を一部切り取り、切り口を上に出して2〜3月頃に植えていると苗が作れます。



▲せき止めや腹痛、眼病、神経痛、痛風に効きめがあるといわれるナツメ

※当市で「薬草活用講演会」をいただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 産業企画課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075

まち協などの催し予定 9月 (8月16日現在)

日	曜日	イベント案内	主催
8	日	枚方市「くらわんか五六市」出店参加	菟田野まち協
15	日	第6回 子ども料理教室	榛原地区まち協
16	月・祝	協和ふれあいまつり	協和まち協
21	土	人権学習会	西谷地区まち協
22	日	灯 Mate2019	伊那佐地区まち協

【敬老会】 15日(日) 室生大野まち協
16日(月・祝) 向洲地区まち協・室生地区まち協
三本松まち協